

## 高校生クルーズ定例化について

みずしま滞在型コンソーシアム

事務局長 林美帆

2022年度に観光庁事業で実施した「水島コンビナートクルーズ」を、継続的に定例化していくために、水島通船株式会社と相談を行った。その結果、水島通船株式会社を主催とし、企画協力をみずしま滞在型環境学習コンソーシアムが行う形式で実施していくことが合意された。

また、焼肉をセットとしたツアーとするための方策を、水島の地域おこし協力隊の村上雄一さんと相談し、村上さんが作成した「水島焼肉マップ」とコラボレーションをすることになった。「水島焼肉マップ」に掲載されている一部店舗で使用できる焼肉チケットを作成してツアーに組み込むこととなった。

コンビナートクルーズの案内役は、岡山県立倉敷古城池高校の探究学習と連携するために、同校のコーディネーター役でもあるコンソーシアム会長の古川明さんが調整し、長期休暇時期に開催することとなった。

2024年3月8日に予行演習を行い、観客は非公式に水島のまちづくり関係者、観光関係者（倉敷市観光課、倉敷観光コンベンションビューロー、岡山県観光連盟）、みずしま滞在型環境学習コンソーシアム役員が乗り込んで実施した。

2024年3月23日に本番を行い、観客は定員一杯の実施となった。

2024年度は夏休みと春休みの実施で4回ほど実施して、定例化を定着させていきたい。